

実務経験のある教員による授業科目一覧（2018年度入学 工学部・生産工学科）

No	区分	必修・選択	授業科目名	単位数	配当年次	教員名	実務経験の職種・所属・実務経歴など	授業概要（実務経歴と授業とのかかわり、実践的教育の内容など）
1	総合教育センター科目	必修	キャリアデザインⅠ	2	3前期	竹元 雅彦 増野 洋子	・竹元 雅彦 産業能率大学総合研究所でのコンサルティング業務を通じて人材育成に携わった ・増野 洋子 大手電機メーカー、外資系人材派遣会社で採用、人事、人材育成業務を経験し、キャリアコンサルタントなどを業務とする事務所を運営	これまで多くの企業の人材育成に関わってきた講師とキャリアコンサルタントがそれぞれの専門性を活かし、将来に向けて自らのキャリアをデザインできるように側面的援助を行う課題形成型の授業である。形式としては、講義形式で授業を行うが、学生が自らの将来に向けて、今何を考え、準備すべきかを理解し、自らの問題意識で個々の課題に取り組む内容となっている。具体的には ・講義での問題提議を受けて、個人ワークで考え、グループワークで協議し、考えをまとめ発表する事を繰り返す中で自分自身の考えをまとめていく。 ・自分の考えを正しく相手に伝えることを繰り返す中で、コミュニケーションの難しさを理解し、言葉を精査する感覚をみにつける。
2	総合教育センター科目	必修	キャリアデザインⅡ	2	3後期	竹元 雅彦 増野 洋子	・竹元 雅彦 産業能率大学総合研究所でのコンサルティング業務を通じて人材育成に携わった ・増野 洋子 大手電機メーカー、外資系人材派遣会社で採用、人事、人材育成業務を経験し、キャリアコンサルタントなどを業務とする事務所を運営	これまで多くの企業の人材育成に関わってきた講師とキャリアコンサルタントがそれぞれの専門性を活かし、将来に向けて自らのキャリアをデザインできるように側面的援助を行う課題形成型の授業である。形式としては、講義形式で授業を行うが、学生が自らの将来に向けて、今何を考え、準備すべきかを理解し、自らの問題意識で個々の課題に取り組む内容となっている。具体的には ・講義での問題提議を受けて、個人ワークで考え、グループワークで協議し、考えをまとめ発表する事を繰り返す中で自分自身の考えをまとめていく。 ・自分の考えを正しく相手に伝えることを繰り返す中で、コミュニケーションの難しさを理解し、言葉を精査する感覚をみにつける。
3	総合教育センター科目	選択	インターンシップⅠ	1	3前期	竹元 雅彦	産業能率大学総合研究所でのコンサルティング業務を通じて人材育成に携わった	授業は、企業等での就業体験を通じて、将来の進路や職業の選択に向けた就業観の養成を目的とした体験型授業です。企業への派遣にあたり、インターンシップの意義・目的についての理解を深め、広島県インターンシップ促進協議会の主催するインターンシップに参加することで、一足早く就職活動を体験します。 内容的には、「キャリアデザインⅠ」で実施する自己分析や職業理解、そしてエントリーシートの作成を先行して行い、県の主催する企業説明会に参加して、インターンシップ先企業を決定します。 また本授業を担当する講師は、長年企業の人材育成を行ってきた経験と広く企業・業界の知識を有し、学生ひとりひとりに対して細やかな指導を行います。尚授業の性質上、ビジネスマナーを徹底的に身に付けることを目的としますので、「時間厳守」「挨拶」を何よりも重視します。遅刻や無断欠席を認めない、提出書類の納期厳守は本講義の最低条件です。
4	総合教育センター科目	選択	インターンシップⅡ	1	3後期	竹元 雅彦	産業能率大学総合研究所でのコンサルティング業務を通じて人材育成に携わった	授業は、企業等での就業体験を通じて、将来の進路や職業の選択に向けた就業観の養成を目的とした体験型授業です。企業への派遣にあたり、インターンシップの意義・目的についての理解を深め、広島県インターンシップ促進協議会の主催するインターンシップに参加することで、一足早く就職活動を体験します。 内容的には、「キャリアデザインⅠ」で実施する自己分析や職業理解、そしてエントリーシートの作成を先行して行い、県の主催する企業説明会に参加して、インターンシップ先企業を決定します。 また本授業を担当する講師は、長年企業の人材育成を行ってきた経験と広く企業・業界の知識を有し、学生ひとりひとりに対して細やかな指導を行います。尚授業の性質上、ビジネスマナーを徹底的に身に付けることを目的としますので、「時間厳守」「挨拶」を何よりも重視します。遅刻や無断欠席を認めない、提出書類の納期厳守は本講義の最低条件です。
	専門基礎科目	選択	基礎力学	2	1後期	古元 秀昭	三菱日立製鉄機械株式会社において機械関係研究開発にたずさわる	授業の前半では力の合成と分解の方法を詳細に学習し、後半ではこれらの知識を応用して、力の釣り合いに関する問題を解析する。授業中に演習をしながらそれぞれの問題の計算方法を詳細に解説する。実務家教員として理解の深化を促すこととする。
	専門応用科目	選択	工業力学	2	2前期	古元 秀昭	三菱日立製鉄機械株式会社において機械関係研究開発にたずさわる	まず、質点の変位、速度、加速度など運動の形態を解析する運動学を学習し、次に、ニュートンの運動法則とダランベールの原理を中心に運動と力の関係に関する動力学を学び、最後に、応用問題として、てこ、滑車、輪軸、斜面などの簡単な機械における力学問題と機械の効率などを学習する。実務家教員として理解の深化を促すこととする。
	専門応用科目	選択	機械力学	2	3前期	古元 秀昭	三菱日立製鉄機械株式会社において機械関係研究開発にたずさわる	静力学や運動学の基礎となる概念、機械の運動の中心となる往復運動や回転運動の力学、振動工学問題など、機械力学に関する基礎的事項について講述し、演習問題を行う。実務家教員として理解の深化を促すこととする。
	専門応用科目	選択	3次元CADⅠ	2	2前期	西原 亜弥 中村 格芳	西原 亜弥は、株式会社アピストで設計を業務としている	使用するソフトウェアは、多くの製造業で実際に業務として適用されているSolidWorksである。講義内容は、3次元CADの基本概念・利用目的、基本操作、スケッチ・ベースフィーチャー作業習得、作成部品を用いた組立作業（アセンブリー）、ドローイングである。各回の授業内容についてGoogle Classroomを使用して確認問題の実施および質問の受付を行い、次週解答と解説を行う。
	専門応用科目	選択	3次元CADⅡ	2	2後期	西原 亜弥 中村 格芳	西原 亜弥は、株式会社アピストで設計を業務としている	使用するソフトウェアは、多くの製造業で実際に業務として適用されているSolidWorksである。講義の内容は、サーフェス機能の習得、エンジンの機構、ピストン・ピストンピンおよびリング・クランクシャフトのフィーチャー作成、エンジンアセンブリー、排気量計算、モデル編集と図面作成である。各回の授業内容についてGoogle Classroomを使用して確認問題の実施および質問の受付を行い、次週解答と解説を行う。
	単位合計			16				

実務経験のある教員による授業科目一覧（2018年度入学 情報化学部・情報デザイン学科）

No	区分	必修・選択	授業科目名	単位数	配当年次	教員名	実務経験の職種・所属・実務経歴など	授業概要（実務経歴と授業とのかかわり、実践的教育の内容など）
1	総合教育センター科目	必修	キャリアデザインⅠ	2	3前期	竹元 雅彦 増野 洋子	・竹元 雅彦 産業能率大学総合研究所でのコンサルティング業務を通じて人材育成に携わった ・増野 洋子 大手電機メーカー、外資系人材派遣会社で採用、人事、人材育成業務を経験し、キャリアコンサルタントなどを業務とする事務所を運営	これまで多くの企業の人材育成に関わってきた講師とキャリアコンサルタントがそれぞれの専門性を活かし、将来に向けて自らのキャリアをデザインできるように側面的援助を行う課題形成型の授業である。形式としては、講義形式で授業を行うが、学生が自らの将来に向けて、今何を考え、準備すべきかを理解し、自らの問題意識で個々の課題に取り組む内容となっている。具体的には ・講義での問題提議を受けて、個人ワークで考え、グループワークで協議し、考えをまとめ発表する事を繰り返す中で自分自身の考えをまとめていく。 ・自分の考えを正しく相手に伝えることを繰り返す中で、コミュニケーションの難しさを理解し、言葉を精査する感覚をみにつける。
2	総合教育センター科目	必修	キャリアデザインⅡ	2	3後期	竹元 雅彦 増野 洋子	・竹元 雅彦 産業能率大学総合研究所でのコンサルティング業務を通じて人材育成に携わった ・増野 洋子 大手電機メーカー、外資系人材派遣会社で採用、人事、人材育成業務を経験し、キャリアコンサルタントなどを業務とする事務所を運営	これまで多くの企業の人材育成に関わってきた講師とキャリアコンサルタントがそれぞれの専門性を活かし、将来に向けて自らのキャリアをデザインできるように側面的援助を行う課題形成型の授業である。形式としては、講義形式で授業を行うが、学生が自らの将来に向けて、今何を考え、準備すべきかを理解し、自らの問題意識で個々の課題に取り組む内容となっている。具体的には ・講義での問題提議を受けて、個人ワークで考え、グループワークで協議し、考えをまとめ発表する事を繰り返す中で自分自身の考えをまとめていく。 ・自分の考えを正しく相手に伝えることを繰り返す中で、コミュニケーションの難しさを理解し、言葉を精査する感覚をみにつける。
3	総合教育センター科目	選択	インターンシップⅠ	1	3前期	竹元 雅彦	産業能率大学総合研究所でのコンサルティング業務を通じて人材育成に携わった	授業は、企業等での就業体験を通じて、将来の進路や職業の選択に向けた就業観の養成を目的とした体験型授業です。企業への派遣にあたり、インターンシップの意義・目的についての理解を深め、広島県インターンシップ促進協議会の主催するインターンシップに参加することで、一足早く就職活動を体験します。 内容的には、「キャリアデザインⅠ」で実施する自己分析や職業理解、そしてエントリーシートの作成を先行して行い、県の主催する企業説明会に参加して、インターンシップ先企業を決定します。 また本授業を担当する講師は、長年企業の人材育成を行ってきた経験と広く企業・業界の知識を有し、学生ひとりひとりに対して細やかな指導を行います。尚授業の性質上、ビジネスマナーを徹底的に身に付けることを目的としますので、「時間厳守」「挨拶」を何よりも重視します。遅刻や無断欠席を認めない、提出書類の納期厳守は本講義の最低条件です。
	総合教育センター科目	選択	インターンシップⅡ	1	3後期	竹元 雅彦	産業能率大学総合研究所でのコンサルティング業務を通じて人材育成に携わった	授業は、企業等での就業体験を通じて、将来の進路や職業の選択に向けた就業観の養成を目的とした体験型授業です。企業への派遣にあたり、インターンシップの意義・目的についての理解を深め、広島県インターンシップ促進協議会の主催するインターンシップに参加することで、一足早く就職活動を体験します。 内容的には、「キャリアデザインⅠ」で実施する自己分析や職業理解、そしてエントリーシートの作成を先行して行い、県の主催する企業説明会に参加して、インターンシップ先企業を決定します。 また本授業を担当する講師は、長年企業の人材育成を行ってきた経験と広く企業・業界の知識を有し、学生ひとりひとりに対して細やかな指導を行います。尚授業の性質上、ビジネスマナーを徹底的に身に付けることを目的としますので、「時間厳守」「挨拶」を何よりも重視します。遅刻や無断欠席を認めない、提出書類の納期厳守は本講義の最低条件です。
	専門応用科目	選択	Webシステム入門	2	3前期	遠藤 麻里	(株)Urbineにおいて、Webデザイナー・プログラマーとしてWebページの企画開発をした。	インターネットを通じて利用できるウェブサイトやショッピングやゲームなどの様々なサービスは、Webアプリケーションを利用したWebシステムで実現されている。本講義では、Webシステムの基礎をHTMLからはじめ、Apache、PHP、MySQLなどを用いて学ぶ。授業は説明と実習を交互に繰り返し進め、数回のプログラミング課題の提出を行う。最終的には、各自がAPMを用いた簡易なWebシステムを構築する。授業の事前準備として、前回までの講義内容を再確認しておくこと。また、時間内に課題が終わらない場合は、次回までに完成させておく必要がある。
	専門応用科目	選択	生活デザイン	2	2前期	遠藤 麻里	1級建築士事務所(株)Urbineにおいて建築士として住宅や家具のデザインや施工管理をした。	デザインの基礎知識を、観察や制作を通して学ぶ。現状観察調査、問題への着目とアイデア、コンセプトの立案とプロトタイプの作成、デザイン制作と評価という一連のデザインプロセスを体験し、デザイン制作の知識と技術を修得する。またグループでのアイデアの発表や意見交換を通してプロジェクト遂行の基礎知識を得る。最終課題は、作成したプロトタイプと説明ポスターを用いて、プレゼンテーションを行う。
	コンテンツ文化・産業科目	選択	ゲームデザイン	2	2後期	北野 不凡	ソフトファクトリーにおいて、企画・プログラマ・ディレクターとして各種ゲームを開発をした。	最初の5回程度で、エンタテインメントの企画に必要な要素を学び、グループディスカッションを通してアイデアを出し、発表する。次の3回程度で、私が提供するゲームを基にオリジナルの舞台、エンタテインメント要素を強化したものを作成する。それを学生相互にテストプレイを行い評価を行う。また、これらは基本的にチーム制作とする。後半の7回でオリジナルゲームを個人で企画立案し、当該企画の詳細化、ストーリーの表現方法、レベルデザインの原則、企画書による表現を実習する。エンタテインメント企業へプランナーとしての応募を可能にする基礎知識を習得する。
	コンテンツ文化・産業科目	選択	ゲームプログラミングⅠ	2	3前期	橋根 弘行 北野 不凡	北野 不凡は、ソフトファクトリーにおいて、企画・プログラマ・ディレクターとして各種ゲームを開発をした。	この講義ではノベルゲームの作成に必要な作業・技法について学習する。具体的には「ティラノスクリプト」などのスクリプトエンジンによるゲームデータの作成に関する事項と、ゲームの企画ならびにシナリオの制作に関する事項について、2クラスに分かれて学習する。
	単位合計			14				

実務経験のある教員による授業科目一覧（2018年度入学 情報化学部・現代社会学科）

No	区分	必修・ 選択	授業科目名	単位数	配当 年次	教員名	実務経験の職種・所属・実務経歴など	授業概要（実務経歴と授業とのかかわり、実践的教育の内容など）
1	総合教育センター科目	必修	キャリアデザインⅠ	2	3 前期	竹元 雅彦 増野 洋子	・竹元 雅彦 産業能率大学総合研究所でのコンサルティング業務を通じて人材育成に携わった ・増野 洋子 大手電機メーカー、外資系人材派遣会社で採用、人事、人材育成業務を経験し、キャリアコンサルタントなどを業務とする事務所を運営	これまで多くの企業の人材育成に関わってきた講師とキャリアコンサルタントがそれぞれの専門性を活かし、将来に向けて自らのキャリアをデザインできるように側面的援助を行う課題形成型の授業である。形式としては、講義形式で授業を行うが、学生が自らの将来に向けて、今何を考え、準備すべきかを理解し、自らの問題意識で個々の課題に取り組む内容となっている。具体的には ・講義での問題提議を受けて、個人ワークで考え、グループワークで協議し、考えをまとめ発表する事を繰り返す中で自分自身の考えをまとめていく。 ・自分の考えを正しく相手に伝えることを繰り返す中で、コミュニケーションの難しさを理解し、言葉を精査する感覚をみにつける。
2	総合教育センター科目	必修	キャリアデザインⅡ	2	3 後期	竹元 雅彦 増野 洋子	・竹元 雅彦 産業能率大学総合研究所でのコンサルティング業務を通じて人材育成に携わった ・増野 洋子 大手電機メーカー、外資系人材派遣会社で採用、人事、人材育成業務を経験し、キャリアコンサルタントなどを業務とする事務所を運営	これまで多くの企業の人材育成に関わってきた講師とキャリアコンサルタントがそれぞれの専門性を活かし、将来に向けて自らのキャリアをデザインできるように側面的援助を行う課題形成型の授業である。形式としては、講義形式で授業を行うが、学生が自らの将来に向けて、今何を考え、準備すべきかを理解し、自らの問題意識で個々の課題に取り組む内容となっている。具体的には ・講義での問題提議を受けて、個人ワークで考え、グループワークで協議し、考えをまとめ発表する事を繰り返す中で自分自身の考えをまとめていく。 ・自分の考えを正しく相手に伝えることを繰り返す中で、コミュニケーションの難しさを理解し、言葉を精査する感覚をみにつける。
3	総合教育センター科目	選択	インターンシップⅠ	1	3 前期	竹元 雅彦	産業能率大学総合研究所でのコンサルティング業務を通じて人材育成に携わった	授業は、企業等での就業体験を通じて、将来の進路や職業の選択に向けた就業観の養成を目的とした体験型授業です。企業への派遣にあたり、インターンシップの意義・目的についての理解を深め、広島県インターンシップ促進協議会の主催するインターンシップに参加することで、一足早く就職活動を体験します。 内容的には、「キャリアデザインⅠ」で実施する自己分析や職業理解、そしてエントリーシートの作成を先行して行い、県の主催する企業説明会に参加して、インターンシップ先企業を決定します。 また本授業を担当する講師は、長年企業の人材育成を行ってきた経験と広く企業・業界の知識を有し、学生ひとりひとりに対して細やかな指導を行います。尚授業の性質上、ビジネスマナーを徹底的に身に付けることを目的としますので、「時間厳守」「挨拶」を何よりも重視します。遅刻や無断欠席を認めない、提出書類の納期厳守は本講義の最低条件です。
	総合教育センター科目	選択	インターンシップⅡ	1	3 後期	竹元 雅彦	産業能率大学総合研究所でのコンサルティング業務を通じて人材育成に携わった	授業は、企業等での就業体験を通じて、将来の進路や職業の選択に向けた就業観の養成を目的とした体験型授業です。企業への派遣にあたり、インターンシップの意義・目的についての理解を深め、広島県インターンシップ促進協議会の主催するインターンシップに参加することで、一足早く就職活動を体験します。 内容的には、「キャリアデザインⅠ」で実施する自己分析や職業理解、そしてエントリーシートの作成を先行して行い、県の主催する企業説明会に参加して、インターンシップ先企業を決定します。 また本授業を担当する講師は、長年企業の人材育成を行ってきた経験と広く企業・業界の知識を有し、学生ひとりひとりに対して細やかな指導を行います。尚授業の性質上、ビジネスマナーを徹底的に身に付けることを目的としますので、「時間厳守」「挨拶」を何よりも重視します。遅刻や無断欠席を認めない、提出書類の納期厳守は本講義の最低条件です。
	ソーシャル ビジネス科目	選択	現代ビジネス論	2	1 前期	竹元 雅彦	産業能率大学総合研究所において、多くの業界との接点を持ち、企業経営に間接的に関わってきた。	講義では、企業でのコンサルティングの経験を持つ講師が、現在成長を遂げている企業を題材に経営資源「ヒト・モノ・カネ・情報」の活用の視点から、そのビジネスの成長要因や特徴について解説を行い、理論で整理します。学生は単に講義を聞くのではなく、学んだ「視点」から「モノの見方・考え方」を学び、企業研究の視点と方法の習得を目指します。
	ソーシャル ビジネス科目	選択	マーケティング論	2	1 後期	竹元 雅彦	産業能率大学総合研究所において、マーケティング計画に関わるコンサルティング業務に従事していた。	今日成長を遂げている企業のマーケティング活動や製品・サービスの分析を通じて、マーケティングの考え方（フレームワーク）を習得する。実際にコンサルティング会社で企業のマーケティング戦略の立案から実施に関わってきた教員が、現在成長を遂げている企業の製品・サービスを題材に、それらを理論の枠組みで整理して、わかりやすく講義します。また、単に講義を聞くだけではなく、実際にマーケティングのフレームワークや手法を使って演習を行うことで、企業活動におけるマーケティングの重要性について理解を深める。
	ソーシャル ビジネス科目	選択	経営分析論	2	1 後期	竹元 雅彦	産業能率大学総合研究所において、企業調査等実際にコンサルティング業務に従事していた。	授業は、テキストを元に基本用語の理解から学び、その背景にある経営学の考え方を確認しながら進めていく。特に、一つの考え方を理解したら、その「見方・考え方」が他にどのような活用できるかを考えないと、単なる知識の習得に終わってしまう。医者や経営コンサルタントの技量は、どれだけ多くの症例・案件を経験しているのであるとすれば、「経営分析」も多くのケースに接することが重要となる。 実際に企業コンサルに関わってきた講師が、毎回ワークを取り入れながら、参画型の授業を行う。例えば、事例企業の分析に先立ち、競合企業との違いについてグループ討議を行い、学生が知りうる「定性情報」と分析によって得られた「定量情報」の違いから、企業コンサルティングの視点から比較を行う。就職活動に先立ち、「ビジネスを捉える視点」を身に付け、磨くために必要なことなので、毎回提示される課題に必ず取り組むことが求められる。
	ソーシャル ビジネス科目	選択	流通論	2	2 後期	竹元 雅彦	産業能率大学総合研究所において、流通システムの改善等、実際にコンサルティング業務に従事していた。	授業を通じて、流通の仕組みについての基本的な考え方を身に付け、その重要性の理解を深めることができるよう、講義においては随時課題研究を行う。実際に流通小売業のコンサルティングに関わってきた講師が、今日に至る流通の仕組みがどのように形成され、今日のような姿を遂げているのかを実際の企業を事例に解説を行う。 具体的には、JIT(ジャストインタイム)を実現するトヨタのカンバン方式やそれを応用したセブンイレブンの物流、またユニクロのSPA(製造小売業)から進歩したニトリの製造物流小売業の実際やヤマト運輸や佐川急便が目指す物流の在り方を通じて、現代社会のインフラとしての流通に対する見聞を広める。
	単位合計				14			